

～はじめに～

はじめまして。太田こうじ市議会議員のもとでインターンをさせていただいている奈良女子大学理学部の柏木と大阪大学理学部の開田です。今回は私たちがブログを更新させていただきます。インターン活動も9月に入り、大詰めを迎えました。その中で、印象に残った出来事をいくつか挙げさせていただきます。

1. 関西座禅道場での合宿

京都府八幡市にある関西座禅道場で八幡市の市会議員とそのインターンのOBさんと1泊2日で座禅の修行を兼ねた合宿を行いました。45分間座禅を行ったり作務として雑草抜きを行ったり、慣れないことが多く、辛いときもありました。しかし、修行が終わったころには心がすっきりした気分になり、とても貴重な体験をさせてもらったな、と思いました。

2. 座談会

8月に続き、座談会を行いました。今回は、政党の仕組みや選挙の仕組みなどの話が上がりました。18歳に選挙権が引き下げられ、私自身も投票しましたが、まだまだ選挙や政党で知らないことが多く、とてもためになる座談会となりました。

3. ディベートならびに原大本徹

私たちが今回一番時間をかけ、そして一番苦労したのがこの2つだと思います。まず、ディベートでは「原子力発電の再稼働に賛成するか」というお題で行いました。事前に調べていると、私たちが知らない情報も多く出てきて、とても興味深かったです。いざディベートをすると自分が思っていることを伝えることができず、大変悔しい思いをしました。また、賛成派、反対派に分かれるのはくじ引きで決まるため、自分が支持する側と反対の側で議論しなければならず、とても大変でした。しかし、大変だからこそとても有意義なものとなりました。原大本徹とは簡単に言うと自分を見つめなおし、自分のすべきことを見つけ、発表することです。自分が影響を受けた過去の経験などを振り返ることは普段はしないので、とても良い取り組みだな、と思いました。また、他のインターン生の原大本徹を聞くと、自分もこんな生き方をしてみたいな、と考え方がまた変わってきたので、とても為になる作業となりました。

～元林院の見学～

我々インターン生は9月6日に、元林院にある「つるや」を見学しました。元林院とは近鉄奈良駅から徒歩約15分程度の、猿沢池周辺にある地域です。かつては奈良の花街として栄え、全盛期には300人ほどの芸妓を抱えていました。しかし、時代の流れと共に華やかさはなりをひそめ、芸妓の数も少なくなっていました。今は奈良市が力を入れて元林院の復興を進めています。今回の活動では、奈良の元林院で芸妓として活躍中の菊野さんと、デザイナーのフルタアキヒロさんにお話を伺いました。フルタさんは元林院の復興のための広告デザインなどを手掛けています。



お二人とも、とても話しやすく、魅力的な方でした。これからのご活躍が楽しみです。

お話を伺っていて、いくつか驚いた点がありました。

➤ 舞妓と芸妓は意味が違う！？

舞妓は芸妓の見習いであり、比較的若い人がなります。

舞妓としてある程度修行を積んだら芸妓として認めてもらえるそうです。

➤ 今と昔では客層は異なる！！

「お座敷」というと、お金持ちの旦那様が遊ぶというイメージでしたが、現在では女性の利用が多いそうです。女性の起業家や主婦の方々の平日の利用が多いとか・・・観光客も多く利用するそうです。

➤ 「お座敷」は昼間もある！！

「お座敷」は夜の遊びというイメージが強いですが、現在は観光客や主婦向けのランチ営業もされているそうです。

菊野さん、とてもお美しい方でした！！



～防災センターの見学～

我々インターン生は9月6日に奈良市防災センターを見学しました。説明を受けながら、消火体験、煙避難体験、台風体験、地震体験の4つを経験しました。すべての説明と体験が終わった後はクイズに答えましたが、なかなかの難問がそろっていました。見学を通して防災に関する知識を習得することができました。ちなみに奈良市防災センターが開設されたのと、私の生まれ年は同じです。そのことに少しだけ驚きました。



～消火体験～

消火器の正しい使い方をこの日はじめて知りました！！

意外と重い！？

～東アジア文化都市～

9月3日の東アジア文化都市・古都祝奈良開会式に出席して参りました。東アジア文化都市とは、日本、中国、韓国の3カ所で、文化を交流させることを目的としたプロジェクトです。式典には韓国から来た使節団の方々による演奏や舞踊を見ることができました。また、中国、韓国から来賓の方々をお迎えしてのテープカットもあり、とても新鮮でした。

